

## ◎ライゾデグ配合注フレックスタッチ [注]

【重要度】 【一般製剤名】 インスリンアスパルト（遺伝子組換え）＋インスリンデグルデク（遺伝子組換え）（3：7） insulin aspart（genetical recombination）＋insulin degludec（genetical recombination） 【分類】 インスリン製剤 [混合型]

【単位】 ◎300 単位本 [3mL]

【常用量】 4～20 単位を 1 日 1～2 回 ■1 型 DM の場合は、他のインスリンと併用して、本剤は 1 日 1 回

【用法】 食直前に皮下注 ■投与タイミングは血糖値を評価して行うが、原則主たる食事の前に投与する

【透析患者への投与方法】 血糖に応じて投与（1）

【保存期 CKD 患者への投与方法】 血糖に応じて投与（1）

【特徴】 超速効型インスリン（インスリンアスパルト）と持効型インスリン（インスリンデグルデク）を 3：7 のモル比で含有する溶解型インスリン製剤。中間型ミックス製剤よりも低血糖リスクが軽減されると思われる。

【主な副作用・毒性】 低血糖、過敏症、リポディストロフィーなど

【薬物動態】 データは各製剤を参照（5）

【相互作用】 薬理的相互作用[血糖に影響する薬剤]に注意（1）

【更新日】 20170718

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。